



10 区 | 飯樋町 行政区

地理



飯樋4区の地理的にもおよそ中心に位置する面積としては小さな行政区。さらに上組、下組に分かれる。

「文化・生活」でも紹介するように、旧飯曾村の役場や各種施設、商店が集まる場所であった。

文化・生活

江戸時代までは原町から飯樋町、比曾を通して二本松へと馬で塩を運んでいたために宿場や馬の休み場があった。宿場時代の名残として、「大黒屋」「荒木屋」といった屋号が残っている。飯樋町で馬の競りなどをしていたので周囲の地域の中でも一際栄えていた。政務を行う陣屋を中心にした藩政関係の施設があり、周辺には相馬藩や中村藩の見廻り役人のための役場が置かれていた。

明治時代になってからは廃藩置県により藩政関係の施設はなくなったが、在郷給人（地方に住み年貢などの取り立てをする武士）は住み続け、馬市も続けられた。明治30年ごろには飯樋と草野で隔年で馬市が行われていた。昭和3年には公共・行政施設が増えてきていることが確認されている。

飯樋4区の中心であり、建物が密集して並んでいた。商店が立ち並ぶ通りには様々な



渡辺富士男 行政区長

5年間東京でトラック運転手や旋盤工などさまざまなスキルを積んで飯館に戻り、洗濯屋を営んでいた。オートバイが趣味で、若いころには日本一周の旅をしたこともある。最近では飯館の方言集を編纂し自費出版し、村の広報委員も務めている。

雑貨屋さんがあり、周辺集落の自給経済を支える商業地でもあった。最盛期には10軒ほどの商店が並んでおり、各店はそれぞれ強みの商品を持ちながらも「なんでも屋」といった様相であった。幼稚園、小学校（共に事故時まで飯樋町に）、中学校（1988年に伊丹沢にできた飯館中学校へ統合）があり他の地区からも子供達に通っていた。近くには武道場もあり、そこは子供たちの遊び場になっていた。飯館村時代の役場も飯樋町に置かれており、入院もできるような規模の病院や母子センターも置かれていた時期がある。飯樋小学校は、建物が2021年ごろに改装され飯館村防災センターとなった。

飯樋町の裏山にあたる前山の上には20年ほど前から地区独自のパークゴルフ場が整備されていて、大会が月に2回、それ以外は好きな日に交流している。年会費を払えば使用回数の制限がなくなるため、最近ではここでのパークゴルフが地域全体の交流の場ともなっている。行政区や老人会の温泉旅行が定期的に行われ、住民の楽しみの一つとなっている。

村営住宅が新築され、移住者の若い世帯がいることも特徴的である。



▲ 飯樋町から牧舎のある谷間と丘を望む



休業中の飯館郵便局

▲ 前山のパークゴルフ場
パークゴルフ愛好会が管理を行う